



演者と巡る世阿弥

～世阿弥関係文書とそのゆかりの地～

講師 味方玄（観世流シテ方） 久田舜一郎（大倉流小鼓方）

生駒山宝山寺所蔵の世阿弥伝書、禅竹伝書を参考に、世阿弥の生涯と業績をたどり、そのゆかりの地もめぐる、世阿弥生誕650年を機にスタートした講座です。毎回世阿弥作の曲を取り上げ、講師お二方による実演もふくめたわかりやすい解説もうかがえます。

第十四回 2020年 3月28日（土）

生駒山宝山寺と世阿弥関係文書

世阿弥本『弱法師』をめぐって

■受講料 1回 一般 3,900円（アカデミー会員 3,500円）

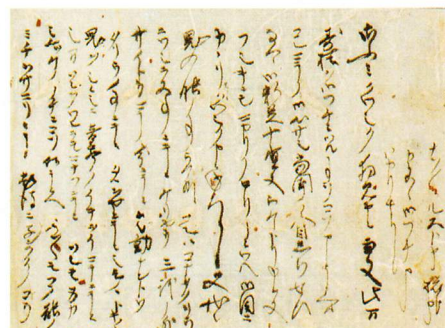
*資料費込み・保険料込み

*交通費・拝観志納料・お食事代等は、別途各自のご負担となります。

◆生駒山宝山寺様のご配慮により、当講座のために特別に貴重資料を公開していただきます。また通常非公開の洋風建築の客殿「獅子閣」（重文）も特別に見学させていただきます。

宝山寺が有する数々の寺宝の中で異彩を放つのが、世阿弥自筆の能本を含む金春家伝来の能楽関係の伝書で、第十五代管長隆範和上が金春宗家の兄であった縁で移管されたものです。今回は宝山寺にて、世阿弥自筆本『弱法師』の臨模本と、配流地の佐渡から世阿弥が禅竹に送った書状、通称『佐渡状』を拝見します。

宝山寺所蔵の『弱法師』は、世阿弥自筆の表記、訂正をそのまま忠実に模写したもので、現行にはない、俊徳丸とともにその妻も登場する設立当初の形を示します。大きく姿を変えた現行との比較において、作品が辿った道のりを考えます。一方禅竹宛書状『佐渡状』では、禅竹からの鬼の能についての質問に世阿弥が答えており、配流地にあっても禅竹の芸に意をくだく世阿弥の姿が窺えます。



世阿弥自筆 禅竹宛書状



獅子閣（重文）



味方玄（観世流シテ方）

父、味方健、片山幽雪、十世片山九郎右衛門に師事。KBS京都テレビ「能三昧」監修・演出・出演。2003年新作能「待月」を制作し、脚本・演出・シテを勤める。青嶂会他、独自の舞台世界創作のためテアトル・ノウを主宰。初回1996年、京都の十念寺における、蠟燭や篝火の光や風も効果的に演出された古風な形の能が好評を博す。近著に『能へのいざない』など。平成13年京都市芸術新人賞、平成16年京都府文化奨励賞など。重要無形文化財総合指定保持者。



久田舜一郎（大倉流小鼓）

1961年大倉流宗家・故大倉長十郎師に入門。京阪神を中心に能楽五流の舞台に出演、海外公演参加多数。異ジャンルの音楽とのセッションなど、能の現代性を追及する試みも積極的に行う。長女陽春子も女性では珍しい大倉流小鼓方の若手ホープとして活躍中。1998年日本文化芸術奨励賞受賞。2011年兵庫県文化功労表彰、神戸文化活動功労賞受賞。重要無形文化財総合指定保持者。西宮在住。

* 行程（予定）については裏面をご覧ください。

詳細は改めまして開催日の一か月前までに参加申込者にご案内いたします。

* 講座終了後、宝山寺様にお借りしたお部屋で先生を囲んでのお食事（3000円前後）は当方でご手配します。

* お申込み方法、アカデミー会員の詳細は裏面をご覧ください。



白鷹緑水苑

〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町5-1

TEL0798-39-0235 FAX0798-39-0236

E-mail: info@hakutaka-shop.jp

URL: <http://www.hakutaka-shop.jp/>

■「演者と巡る世阿弥」3/28行程（予定） *お申込者には、改めまして確定後の詳細をご案内させていただきます。

9:00 近鉄奈良線 生駒駅 中央改札口 集合。 *時間厳守をお願いいたします。

*集合時にお食事代・拝観志納料としてお一人 4500 円を徴収させていただきます。

9:20 ケーブル線 鳥居前駅から宝山寺駅へ *生駒駅集合の後、御寺までタクシーご利用も可能です。

9:25 宝山寺駅 徒歩で宝山寺へ（約 10～15 分）

9:40 宝山寺 宝山寺の参集殿「和光殿」広間へ

9:50 和光殿にて講義 世阿弥本『弱法師』を巡って

世阿弥自筆『弱法師』の臨模本と、配流地の佐渡から世阿弥が禅竹に送った書状、通称「佐渡状」を拝見するとともに、講師お二方による、演目にまつわるお話と実演をお聴きします。

12:00 お食事 *仕出しをご用意しています。

13:30 頃 各自境内参拝後宝山寺にて自由解散 *ケーブルは一時間に三本、20 分間隔で出ています。

希望者はお寺の方の案内により「獅子閣（重文）」を特別にご見学いただきます。

◆本講座でご協力いただく《生駒宝山寺》について◆

真言宗に属する大本山で、役行者修行の霊窟、「般若窟」に古く起源する葛城修行の霊場であったといわれる。その岩場は延宝6年（1678）、宝山湛海律師の入山によって中興され、般若窟に弥勒菩薩を安置し、不動明王を中尊とする本堂と歓喜天を祀る聖天堂を中心として、生駒山東斜面中腹の急傾斜地に諸堂を配置する。歓喜天は「生駒の聖天さん」と通称され、商売の神様として大阪を中心に京阪神で広く信仰を集める。



■「演者と巡る世阿弥」受講について 入会金不要、どなたでもご参加いただける特別公開講座です。

申し込み用紙にご記入の上、事前に禄水苑までお申し込みの後、受講料のお振込み、あるいは禄水苑カウンターにてお支払いをお願いしております。

＜お振込み先＞ 三菱UFJ銀行 西宮支店 普通5065562 ハクタカロクスイエン
(恐れ入りますが、振込み手数料はご負担願います。)

* 予約手配の都合上、開催日から数えて14日前までにご入金いただきますよう、お願いいたします。（空席がある場合は期日を切った後のお申し込みにも対応させていただきます。）

* 期日内のご入金が確認できず、お申込者と連絡のつかない場合は、ご予約いただいてもキャンセル扱いとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

* 原則としてご入金後のご返金はいたしかねますのであらかじめご了承ください。万が一ご欠席の場合、代理の方のご参加や、同年度内に開催される本講座以外の講座への振り替えも可能です。（原則として同講座は不可）

* アカデミー会員は、禄水苑の文化会員です。会員特典や入会については、禄水苑にお問い合わせください。

詳細はホームページでもご案内しております。 →<http://www.hakutaka-shop.jp/>

『演者と巡る世阿弥』（後期）受講お申し込み書 FAX 0798-39-0236 【2019年度後期】

氏名	ふりがな	電話	FAX
住所	〒		
メール			
一般 ・ アカデミー会員【会員番号: 】 ・ アカデミー入会希望			
2020年3月28日（土）			